

コモチミツバベンケイソウ(新品種)

著者	米澤 信道
著者別表示	Yonezawa Nobumichi
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	34
号	2
ページ	69
発行年	1986-12-15
URL	http://doi.org/10.24517/00056129

の指摘による所が大きい。私もそれまで、イヌワラビが片親とは考えてみなかった。ところが生田氏は、検討を託された私をもたもたしている間に、1984年12月、70歳で永眠されてしまった。ここに近畿地方のシダ植物をくわしく調査され、鋭い観察で多くの問題品を発見された氏の御冥福を、心からお祈りする次第である。

引用文献

- 中池敏之. 1975. Enumeratio Pteridophytarum Japonicarum, 143-144. 東大出版会.
杉本順一. 1966. 日本草本植物総検索誌シダ植物篇,

211, 404. 六月社.

Summary

The morphological characters of "*Athyrium sheareri* form. *saitoanum*" were compared with those of true *A. sheareri* and *A. niponicum*. "*A. sheareri* form. *saitoanum*" was separated from *A. sheareri* in less creeping rhizomes, longer scales, deeply dissected pinnae, thinner texture of laminae, etc., and was supposed to be the natural hybrid between *A. niponicum* and *A. sheareri*.

(Received May 9, 1986)

コモチミツバベンケイソウ (新品種) (米澤信道) Nobumichi YONEZAWA: A New Form of *Sedum verticillatum* LINN.

1985年9月、山梨県の北岳に登った際、ミツバベンケイソウが一斉に茎の節にむかごをつけているのに気がついた(写真1)。筆者は、それまでも7-8月には何度か登っているが、その時期(花期)には気付かなかったものである。なお、北岳のミツバベンケイソウは、全て、このむかごをつける型であると推定している。

京都で、このむかごを茎からはずし、植えたところ、写真2のように、新個体となった(若いときは、葉は輪生とならず、対生である)。

このむかごをつける型は、サハリンの標本でも確認できたが、果期にきちんと観察すれば、さらに産地は増えるものと思われる。

Sedum verticillatum LINN. form. *bulbiferum* YONEZAWA, form. nov.

Caulis bulbiferi.

Nom. Jap. Komochi-mitsuba-benkeiso (nov.)

Hab. Saghlin: (Z. TASHIRO, Aug. 1939, KYO). Honshu: Pref. Yamanashi: S. Alps Mt. Kitadake, nr. Okanbasawa, alt. 2000m (K. MIDORIKAWA, Sept. 28, 1977, KYO); Okanbasawa, Mt. Kitadake, Ashiyasu-mura, Nakakoma-gun, alt. ca. 2100m (N. YONEZAWA; Sept. 23, 1985; Holotype in KANA no. 117392).

(〒606 京都市左京区上高野大塚町2-16, Kamitakano-otsukamachi 2-16, Kyoto-shi, Kyoto Prefecture 606) (Received June 12, 1986)



写真1. コモチミツバベンケイソウ
(山梨県北岳大樺沢1985年9月23日撮影)

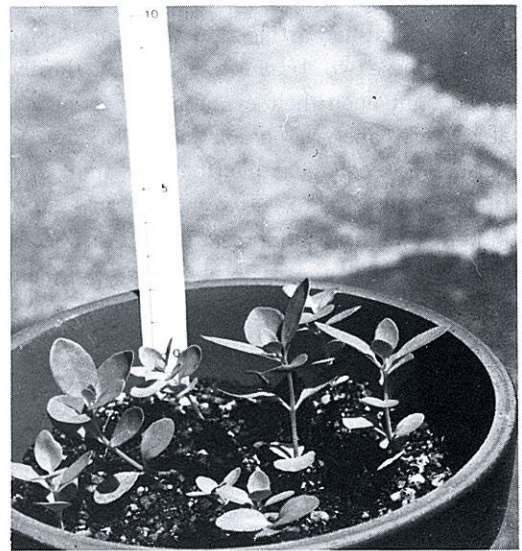


写真2. コモチミツバベンケイソウ
(1986年5月31日, むかごから生育したものを撮影)